

# ふんわり

自由はどうぞ  
TAKE FREE



「皮むき間伐」への誘い  
山の暮らしの備忘録。  
NPO法人しんりん / サスティナライフ森の家  
くりこま高原自然学校

ふんわり 第34号 2020年4月16日発行 (5,000部) ふんわり編集部: 宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13 ☎022-725-2775 funwarinfo@gmail.com

## わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンラインワンで、おもしろいことができそうです。

**くりこま高原自然学校**  
☎ 0228-46-2626  
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1  
http://kurikomans.com/  
栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地温泉など大自然をご案内します。

**KURIKOMA**  
(株)くりこまくんえん  
☎ 0228-55-3261  
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7  
http://www.kurikomakunen.jp/  
伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業を行っている、材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

**NPO法人 しんりん**  
☎ 0229-25-4668  
宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地  
エコーの森内  
http://shinrin.org/  
森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりとごきり育成を推進中。

**手のひらに太陽の家**  
☎ 0220-23-9755  
宮城県登米市登米町 寺池辺室山 17 番地 1  
http://taiyounoie.org/  
「歴史と自然豊かな町・登米市登米町。地元木材をふんだんに使った心地よい建物で、宿泊・研修・レンタルスペース・子どもの遊び場など、多目的にご利用いただけます。オーガニックカフェも営業中！」

**サスティナライフ 森の家**  
☎ 022-725-2775  
宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13  
https://www.sustainalife.co.jp/  
地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。

ふんわりに広告を載せてみませんか。詳しくは編集部までお問合せください。

**ふんわり 第34号**  
[宮城版]  
[2020年4月16日] 季刊 (年4回発行)  
ふんわり編集部  
〒981-3225  
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13  
☎022-725-2775  
funwarinfo@gmail.com  
funwari\_miyagi freefunwari

希望の番号・ご応募の方の住所とお名前(プレゼント送先)を書いてメール(下のQRコード)か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えください。【①ふんわりを読んだ感想(気持ちや気づき、編集部へのメッセージなど)②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】

手のひらに太陽の家 クリアファイルセット A4・4色8枚セット [3名様] ①  
森林木香 きりり香 [3名様] ②  
ふんわりと同じ 森林認証紙で作った 10x10x10cmメモ [3名様] ③

present!

**編集長ぼすとすくりぷと**  
春は人も自然も変化の多い季節。「ふんわり」も紙面の構成やスタイルも変化して、新年度を迎えました。変化の激しい社会の中、ローカルにしっかりと根を張りつつ、軽やかにしなやかにふんわりと暮らしていきましょう。

**Cover Photo**  
ちいさな春を1つ、2つ。待ちに待った春を満喫しています。  
印刷：コンカツ印刷  
岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963



**森のようちえん・小学校 春の親子キャンプ**  
☎ 5/2土-3日(1泊2日)  
未就学児と小学生、その親子対象のキャンプです。森遊び、焚き火、ものづくりなど、親子で自然を満喫しましょう!

**GWファミリー&小学生向けプログラム 新緑のくりこま高原自然学校キャンプ**  
☎ 5/4月-5日  
大人も子どもも、新緑のブナ森に抱かれ、ゆったりキャンプ。たっぷり遊んで、いろいろ作って、焚き火を囲んで、おいしいご飯を食べましょう。



**みんなで登ろう! 栗駒山・夏山開きトレッキングツアー**  
☎ 5/17日  
栗駒山のグリーンシーズン本格スタート!! 自然学校ガイドのつかちゃんと一緒に中央コースを歩きます。  
オーダーメイド開催いたします。  
**メディックファーストエイド講習**

**くりこま高原自然学校 ログハウス・コテージ 宿泊受付中!**  
自然学校の代表が自作した本格ログハウス、を宿泊にご利用いただけます。素泊まり、食事付き、BBQ、グループで貸し切りなど、多様なニーズにお応えします。

☒ くりこま高原自然学校 ☒ NPO法人 しんりん ☒ サスティナライフ 森の家  
☒ 手のひらに太陽の家 ☒ くりこまくんえん

2020 April-July  
**f-calender**  
ふんわり関連イベントカレンダー  
詳しい情報は巻末一覧から各団体HPをご覧ください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**森のようちえん・小学校**  
☎ 4/29水, 5/10日  
毎月1~2回、週末に開催します。  
テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほ・い・く」! 栗駒山の大きな自然の中で、大人も子どももラックス♪

**皮むき間伐2020inくりこま**  
☎ 6/5金-7日  
NPO法人しんりんとサスティナライフ森の家の合同イベント。詳しくは裏面本誌記事をご覧ください。

**手のひらマルシェ 手のひら横丁 赤ちようちんマルシェ**  
☎ 6/20土(予定)  
お酒も出る手のひらマルシェ初の夜イベント。子どもも縁日ブースでお祭り気分を満喫。大人も子どもも、みんなで初夏の宵を楽しんじゃおう! 詳細は追ってfacebook等でお知らせします。

それぞれの場所で輝きながら、  
スツと立っている人がいます。  
しかも、ふんわり。  
そんな人たちに、会いにいきました。  
ふんわりの、巻頭リレー!

**日高見窯 陶芸教室**  
鈴木由香さん  
Suzuki Yuka

この地域の風合いを 日常の器に

山と田んぼ、海へと流れる大きな川、ふるさとと聞いて思い描く風景の残りのような登米市。「みやぎの明治村」として知られる、史跡や文化財の残る登米町の街並み。歩く速さで眺めるのがちょうど良い町の並びに「日高見窯陶芸教室」があります。陶芸作家の鈴木由香さんは、沖縄県那覇市の「壺屋焼き」、栃木県の「益子焼き」での修行や作陶を経て、地元登米市にUターンしました。実家のある米山町に築窯し、登米町のアトリエで作陶する由香さん。沖縄ではシーサーの職人さんに弟子入りし、陶芸の町・益子では製陶所勤めで日々たくさんさんの陶器を作っていたそうです。

焼き物の土地の風土をまといつつ、ふるさとの土地に根付いた原料を取り入れることにも意欲と探求の思いを注いでいます。実家の稲わらや、収穫後の大豆の鞘を灰にしたもの、石巻の雄勝硯を粉状にしたものを釉薬に混ぜ込み、この地域ならではの風合いを作品に反映させています。

作品づくりの発想は自由でも、日常の器は実用であることが第一。製陶所での経験から、同じ型のものを百個単位で作ることもあるそうです。型は同じでも、すべて手作業の連続。手作りのわずかな表情の違いが、温かさや柔らかさを感じさせます。料理をする人の意見を聞くことも大きなヒントになっています。

また、陶器を買って使うだけでなく、創る楽しさ、手に取ってこそわかる魅力を感じてほしいと、陶芸体験に力を入れています。大人向けはもちろん、幼稚園など子ども向けの陶芸教室も多く、小さなお子さんの感性もあたたかく見守ります。由香さん自身も、ふたりの男の子のお母さんで、工房の粘土はお子さんの遊び道具にもなっているようです。季節の楽しみとして、陶器の鯉のぼりやお雛さま、酒器などを創る教室も主宰しています。

水と土から生まれる陶芸の魅力は、無限大。作る楽しみ、選ぶ楽しみ、使う楽しみ。日々の暮らしの心を満たすものとして、由香さんの器が誰かの日常へと繋がっていきます。

ひとたばろくろくが回り始めると、どっしりとした粘土のかたまりから軽やかに器が姿あらわします。

☎ 987-0702  
宮城県登米市登米町寺池桜小路103  
http://suzukiyuka.main.jp/  
Instagram 鈴木由香 (@hitakamigama)

# 「皮むき間伐」

へのお誘い



密集している木々。これでは日光が地面まで届きません

間伐とは、「木の間引き」のこと。木々が茂りすぎると森に日光が入りづらくなり、曲がったり病気になる木が増え、下草も生えなくなってしまいます。それを防ぐために、混みあってきた木々の一部を抜き伐り、木の根元や地面まで日光が届くように環境を整えるのです。

## 間伐を行うとこんなメリットが。

- ・日光を十分に浴びた太くてまっすぐな良い木が育ちます。(良い木は、家を建てるときの材木として使われます。)
- ・光合成が盛んに行われるようになるので、二酸化炭素をたっぷり吸収し、温暖化防止につながります。
- ・木々がしっかりと根を張ることにより、大雨・暴風雪などの時、土砂崩れ等の災害が起きにくくなります。

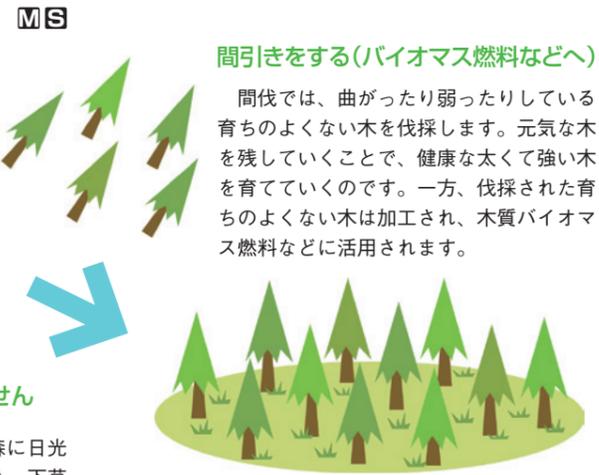
## 皮むき間伐

皮むき間伐とは、間伐方法のひとつです。木は、皮をむかれると地面から水を吸い上げられなくなり、やがて立ったまま枯れてしまいます。その性質を利用したのが皮むき間伐です。

春に木の皮をむく作業を行い、秋～冬に枯れて水分が抜けたところを伐り出し、運搬します。水分の抜けた木は重さが約半分になっていて、伐り出すのも運搬するのも容易になります。



去年の植林の様子



## 間引きをする(バイオマス燃料などへ)

間伐では、曲がったり弱ったりしている育ちのよくない木を伐採します。元気な木を残していくことで、健康な太くて強い木を育てていくのです。一方、伐採された育ちのよくない木は加工され、木質バイオマス燃料などに活用されます。

適度に間引きをすると、地面に日光が届き、木も下草も生育が良くなります。

根元に切り込みを入れて引張るだけでついでに皮がむけます。皮むきをしたらばかりの木。Cure!



## エコラの森の森林再生活動

『エコラの森』とは、宮城県大崎市鳴子の、260ha(東京ドーム約56個分)以上の面積がある広大な森です。一見豊かな森に見えますが、20年以上前にリゾート開発が失敗し、盗伐され、放置されていた場所です。現在では、『NPO法人しんりん』が管理を行っています。

NPO法人しんりんと(株)サステナライフ森の家では、環境活動家の田中優さんと(株)天然住宅など協力会社の方々、イベント参加者の皆さんとともに、年2回、エコラの森で皮むき間伐や植林活動・伐倒体験など、豊かな森を再生する活動を行っています。地道な森林再生活動により、エコラの森は少しずつ光の入る明るい森を取り戻してきています。

## 山のホームステイ つかちゃん×こうすけ

新型コロナウイルスCOVID-19の影響で全国の小中学校が休校になりました。くりこま高原自然学校では、過去のキャンプ参加者などリピーター中心に少人数での山のホームステイの受け入れを実施しました。今回ふんわりの記事で何を書こうか悩んでいるとき、ふと横を見るとホームステイ滞在中のこうすけがいたので、彼に自然学校での体験の感想を聞いてそれを記事にしようと思いついた。



家でカラカラゲームやテレビなどをずっと見ているより自分の生活を計画して自分で実行できる。普段経験することのできない自然を感じて遊んだりすることができる。例えば、今年はあまり降っていない雪でいっぱい遊んで、栗駒山に来て良かった。親に血洗いを頼むのではなく、自分で血を洗うことで自分の将来などに役立つことがたくさんある。以上

聞いた私が少々面食らうほど、ど真ん中の感想が返ってきて驚いた部分もあるが、自然学校として経験してほしいことを感じてくれてうれしく思った。彼の言葉を励みに今年度もたくさんの育ちや学びの場が提供できるよう頑張ろう!!

## 第1回 山の暮らしの備忘録。

## 栗駒山で でっかく遊ぼう!

山の遊び場・キャンプ場・ネイチャーガイド・ものづくり体験・焼き火クッキングなど、山の楽しみを体験いただけます。お子さん連れはもちろん、大人だけのご利用も歓迎いたします。詳しくは、自然学校のSNSへ!



今年も  
**6月5日(金)～7日(日)に**  
**皮むき間伐inくりこま2020**  
を開催します

作業はとて簡単なもので、保護者の付き添いがあれば小学校低学年のお子さんでも参加できます。詳しいタイムスケジュールやイベント内容につきましては、サステナライフ森の家のホームページに随時UPしていきますので、ぜひチェックしてください。ぜひその手で一緒に、森の再生を体験してみましよう!  
※新型コロナウイルスの影響で日程に変更が生じる場合があります。

## 多面的に活用できる「手のひらに太陽の家」

この原稿を書いている3月半ば、TVも新聞も話題は「コロナ」でもちぎりだけけれど、春は着実にやっています。手のひらに太陽の家がある登米市は山川など自然や田畑からいたたく大地の恵も豊富にあり、三陸沿岸の海にも車で20～30分で行くことができます。また拠点となる登米町には、日本の伝統と西洋の文化が融合した文明開化の時代を忍ばせるみやぎの明治村があり、登米伊達家のお膝元として北上川の廻船で栄えた古い町並みも残っています。

手のひらに太陽の家は、個人的な宿泊も団体の研修や合宿にも、野外炊飯、ミニキャンプにも幅広くご利用いただける施設です。オーガニックカフェ roomでは、BQプラン、パーティプランもご用意しています。ご希望に応じて地域の情報、手のひらのオリジナルプログラムも組み合わせご紹介いたします。お気軽にご相談ください。プログラムの詳細はfacebookをご覧ください。



## 手のひらに太陽の家

tenohira-press | 通信 |

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト 検索



お問い合わせは 手のひらに太陽の家まで

# 木

今、私たちの周りには様々な「木」が流通しています。日本の木・外国の木・集成材・合板材などなど。一言で「木」と言ってもたくさんの種類があります。

くりこまくんえんで扱っているのは日本の木です。スギやヒノキ、広葉樹など栗駒山麓で育った木を主に製材し、防カビ材などの薬品は一切使用しない木材を生産しています。

栗駒の山には戦後植林された杉の木がたくさんありますが、原木価格の低下などの理由から山の手入れがされず、荒れた山へなっている場所も多々あります。私たちは地域の木材を使い、山の保全にも努めています。

地域の木材を使う。防カビ材などの薬を使わない。外国の木は扱わない。すべてに意味があります。その意味は次号から少しずつ書いていきたいと思っています。お楽しみに～!

